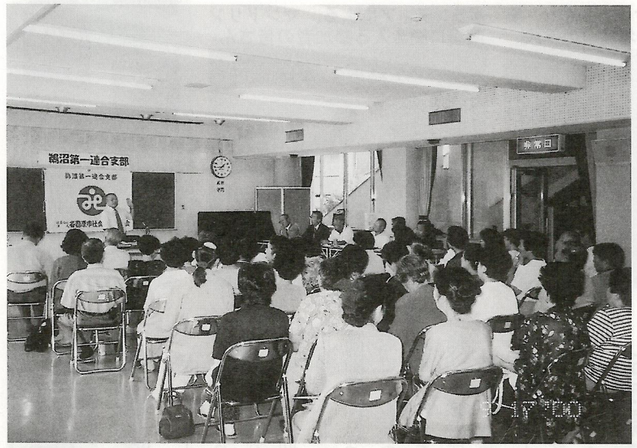
社協 鵜一支部だより

第 14 号
2001年(平成13年) 4月1日
発　行
社協鵜沼第一支部
編　集
社協鵜一支部編集委員会

福祉のまちづくり
福祉座談会

高齢化社会の招来と共に、地域の福祉活動は益々重要であり、地域に根ざした福祉活動を展開するためには、近隣社会の意識改革が課題となってまいりました。

こうしたことを踏まえて、今回の福祉座談会は、「福祉のまちづくり」をテーマに、コメンテーターとして、市役所の高齢福祉課　斎藤　茂氏　アドバイザーとして、市社協の高見知恵氏を招き、九月十七日に鵜沼福祉センターで開催しました。



参加者は、鵜一校区の自治会役員、民生児童委員、近隣ケアグループの方々その他、一般の皆さん等で、会場一杯の盛況でありました。

座談会では、自由な立場で率直な意見交換が熱心に行なわれて、地域福祉の動向に対する参加者の関心の高さを物語っておりました。

社協活動の一年を振り返って

鵜一支部長　大栗幹雄

日頃から、社協鵜一連合支部の活動に、ご理解ご協力を賜り有り難うございました。

平成十二年度の事業も計画どおりに進めることが出来ましたのも、皆様方をはじめ、支部役員各位のご指導と、格別なるお力添えの賜物と心より厚くお礼申し上げます。

少子化、核家族化、高齢化が進み人間関係の絆が希薄になりつつある中で、組織化された社協活動での「ふれあいの場づくり」が社会のニーズとして、その重要性が更に問われていることを痛感させられました。

鵜一支部も、今後、社会の動向を注視しつつ、地域福祉の向上に寄与されることを期待いたしております。一年間有り難うございました。

ボランティア活動の三原則

ボランティア活動の基本的な性格は、「自発性・自主性」「福祉性」「無報酬性」の三つの原則をあげることができます。鵜一社協もこうした原則に基づき活動しております。

▼自発性・自主性

ボランティア活動は、強制や強要されることなく、自分自身が自主的に考え、自からの意志と判断によって、問題解決や援助活動に取り組んでいくことにあります。

▼福祉性

ボランティア活動が自発的行為といえども、自分勝手な活動ではなく社会福祉の向上に向けられるべきものです。

▼無報酬性

ボランティア活動は、自分自身の考えで判断し、実践することですから、報われることを期待する性格のものではありません。

平成12年度　鵜一支部事業報告

月	事業内容	月	事業内容	月	事業内容
12年4月	27日・第1回役員会 ・事業計画（案）、予算（案）作成 ・総会資料作成	8月	・友愛訪問（寝たきり老人　対象者19名） 15日・支部だより発行（第13号） ・社会福祉協議会会員募集	12月	・友愛訪問（準ね・寝たきり老人対象者47名） ・高齢者等年賀はがき発送 22日・第8回役員会
5月	8日・支部長、推進委員打合わせ 21日・第1回理事会 〃・鵜沼第一連合支部総会 〃・第2回役員会	9月	17日・福祉座談会（参加者54名） 〃・第5回役員会	13年1月	・友愛訪問（独り暮らし老人対象者73名） 20日・第3回支部だより編集会議
6月	・友愛訪問（寝たきり老人対象者20名） 16日・高齢者等暑中見舞いはがき、鵜一小作成依頼 25日・地域介護講習会（参加者98名） 〃・第3回役員会	10月	・友愛訪問（寝たきり老人対象者19名） 1日・理事、評議員合同会議　・第6回役員会 30日・高齢者、独り暮らし老人を囲む会（稲田園老人参加者107名）	2月	・友愛訪問（準ね・寝たきり老人対象者47名） ・仮決算、事業報告書作成 ・総会資料作成
7月	・友愛訪問（独り暮らし老人対象者73名） 1日・第1回支部だより編集会議 16日・第4回役員会 ・第2回支部だより編集会議 ・高齢者等暑中見舞いはがき発送	11月	1日・高齢者等年賀はがき、鵜一小作成依頼 14日・各務原市社会福祉大会 26日・親子ふれあい映画会（参加者88名） 〃・第7回役員会	3月	7日・決算監査 10日・第2回理事会 17日・鵜沼第一連合支部総会 4/1日・支部だより発行（第14号）

平成12年度　鵜一収支決算報告

収入の部　　単位：円

	科目	予算額（円）	決算額（円）	備考
1	交付金	400,000	426,000	支部交付金
2	メニュー事業助成金	381,000	425,000	
	1）モデル事業	100,000	100,000	モデル推進支部交付金
	2）支部だより発行	200,000	212,800	機関紙発行助成金
	3）囲む会	65,000	85,000	参加者助成金
	4）親子ふれあい映画会等	16,000	27,200	福祉映画会・福祉座談会助成金
3	繰越金	207,241	207,241	前年度繰越金
4	雑収入	759	41	預金利子等
	合計	989,000	1,058,282	

支出の部　　単位：円

	科目	予算額（円）	決算額（円）	備考
1	事務費	22,000	20,115	印刷・写真・文具等
2	共通施設事業費	210,000	195,035	
	1）福祉教育事業費	40,000	39,280	高齢者暑中見舞い・年賀はがき購入費
	2）友愛訪問事業費	140,000	119,575	友愛訪問5回
	3）支部育成事業費	20,000	20,378	役員会・支部総会
	4）介護講習・座談会	10,000	15,802	介護講習会・福祉座談会
3	メニュー事業費	455,000	540,325	
	1）親子ふれあい映画会	35,000	40,320	映写機・フイルム借上料等
	2）ふれあい事業	240,000	275,410	高齢者・独り暮らし老人を囲む会飲食費等
	3）支部だより	180,000	224,595	支部だより発行（2回）
4	その他事業費	140,000	141,847	
	1）生きがいづくり	50,000	50,000	校区市民体育大会協賛金
	2）ふれあい事業	60,000	60,000	三世代ふれあい交流（各区）協賛金
	3）会議費等	30,000	31,847	役員会・機関紙編集会議等
5	予備費	162,000	0	
	合計	989,000	897,322	

※（収入）1,058,282円－（支出）897,322円＝（次年度繰越金）160,960円

高齢者を囲む会
稲田園

十月三十日、社協鵜沼第一連合支部主催による「高齢者を囲む会」が、稲田園において開催されました。

この日は、晴天に恵まれ多数のお年寄りの参加を得て、お食事、アトラクション、カラオケ等で、融和と笑いの楽しい一日を過ごされました。

高齢者の皆さんには健康に留意され、次回も、お誘い合わせて是非ご参加下さい。

華麗な日本舞踊に、うっとりと見入られる参加者の皆さん。

自慢の歌をカラオケで披露し、宴会を楽しまれるお年寄りの一人。

ボランティアによる、マンドリン演奏に聞き入る参加者の皆さん。

近隣ケアグループ活動の一年を顧みて

羽場町　土屋雅子

ケアグループ活動に参加して二年になりましたが、各種の行事を通じて、高齢者の社会参加の必要性とか、友愛訪問等での語らいが、独居者や高齢者にとって生きがいの原点であるかのように、「人とのふれあい」の大切さを痛切に感じております。

充実した近隣社会の醸成を地域が連帯して創ることの重要性を改めて認識しました。

古市場町　林　長寿

寝たきりの方を訪問し、私も歳が近いためか、チョッピリ淋しさを感じました。

今お年寄りの方々が、今日の日本を支えて下さったのかと思うと、心からご苦労様でしたと頭が下がりました。

健康の尊さと数々の場面を通じて、生きる喜びをつくづく実感でき、友愛訪問で皆さんに大変喜んで頂けましたことが、思い出となりました。

西町　坂井眞美子

友愛訪問で一人暮らしの方を訪れた時「私などは訪ねて来るお客もなく、可愛がっている猫が毎日の話し相手ですよ、暇があったら何日でも立ち寄って下さいね」と・・・

はじめて訪ねて話をした私ですが、女性の言葉に私自身も励まされ、近隣ケア活動の大切さを知りました。

「おばあちゃん、頑張ってね」と祈る毎日です。

小伊木町　加藤十三子

幸せの感じ方は、人それぞれです。家族同居のお年寄りが多い地域ですので、家族のヘルパーさんが頑張ってケアをされています。

家族の一員として、社会の一員として、今を生きている私達は、廻りを見て「お元気ですか」の一声で、皆が温かい幸せになれると思います。

そんな小さな一言が近隣ケアの始まりだと思いました。

南町　大竹くみ子

高齢者に寄り添い、何か喜ばれる事をしたい。その願いの推進にあたり、民生委員さん、代表者の方々と協議を重ねた結果、訪問・絵手紙・食事会等を実施できました。

「交流が楽しく、次回が楽しみ」という声が寄せられ、喜びもひとしおに高齢化を自分の事と捉えられる体験ができグループの方々の協力に対し心より感謝申し上げます。

丸子町　伊藤隆夫

友愛訪問にて、大変なご苦労があるにも拘らず、介護されているご家族の気丈ぶさと優しさ、散歩・買い物・趣味に、淋しさを淋しさと感じさせない諸先輩方に、生き甲斐について教えられました。

有意義な機会に深謝し、これから迎える、超高齢化社会に向けて、プライバシーの保護、相互の信頼関係等を考え邁進したいと思います。

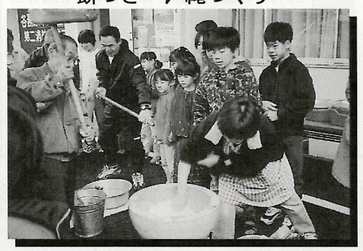
三世代ふれあい
《社協　鵜一支部　共催事業》

社協鵜一支部は、各地区と連携して三世代ふれあい事業を推進し、人と人との輪を広げ、ふれあいの場を通じて、地域住民の連帯意識の高揚が図られることを目的として、今後も、積極的に支援してまいります。

十二年度も各地区において、様々な「ふれあい事業」が行なわれましたので、その情景の一部を紹介します。

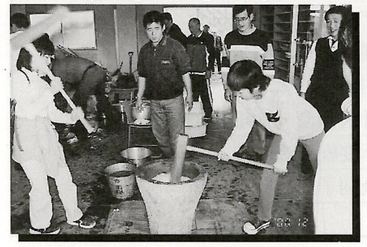
【羽場町】
いも煮会

【古市場町】
餅つき・〆縄づくり

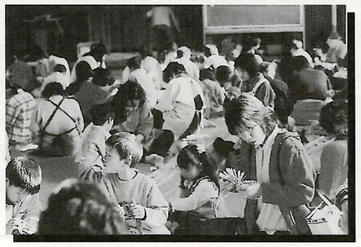


【丸子町】
〆縄づくり

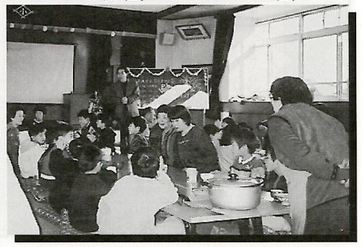
【西町】
餅つき・〆縄づくり



【南町】
〆縄づくり



【小伊木町】
いも煮会・クリスマス会

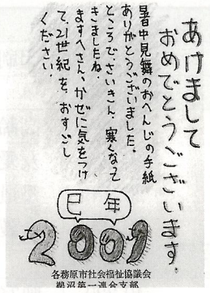


おじいちゃん・おばあちゃんへ年賀状
鵜沼第一小学校　五・六年生児童

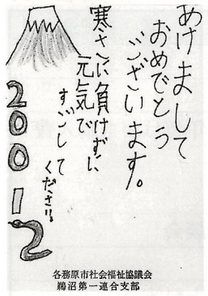
平成十三年元旦、高齢者および、ひとり暮らし等の方々に、鵜沼第一小学校の児童生徒が年賀状をお送りしました。

お年寄りの皆さんと児童との心の交流を図り、喜びを分かち合い、励まし合う風土を醸成し、心豊かなふれあいのまちづくりの一助となることを願っております。

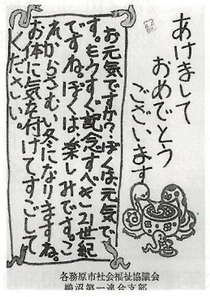
六年　松本奈々



六年　細井将平



五年　後藤雅哉



五年　米島桃子